

燃やすごみの減量化にご協力ください

鯖江市のごみの現状は？

市では、燃やすごみ袋の中にどのようなものが入っているかを調べる「組成調査」を行っています。その結果では、紙類やプラスチック類など「資源物」としてリサイクルできるものが約4分の1を占めており、食品ロスも含めると、本来の「燃やすごみ」ではないものが、全体の約3分の1含まれていました。

なぜごみの減量が必要なの？

本来は燃やさなくてもよいものを燃やしていると、無駄な設備投資や、施設の維持管理費が生じ続けます。その結果、大切な子や孫の世代に大きなツケを残すことになってしまいます。また、燃やすごみの減量化は、全世界的取り組みである「SDGs」や、昨年5月に市が宣言した「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて誰もが取り組める活動です。

紙類リサイクルの主な例

紙箱、紙袋、包装紙などの紙類はきちんと分別することで、「ごみ」ではなく、次のような大切な「資源」に生まれ変わります。

